

4 交通事業

(1) 事業概要

ア バス事業の概要

職員数は 1,949 人で、前年度（2,234 人）に比べ▲285 人、▲12.8%と大幅に減少している。在籍車両数は 1,127 両で、前年度（1,198 両）に比べ▲71 両、▲5.9%減少している。

営業路線は 693.2km で、前年度（741.5km）に比べ▲48.3km、▲6.5%減少し、年間輸送人員は 176,642 千人で、前年度（188,304 千人）に比べ▲11,662 千人、▲6.2%減少した。また、年間走行距離は 40,546 千 km で、前年度（45,749 千 km）に比べ▲5,203 千 km、▲11.4%と大幅に減少している。

イ 地下鉄事業の概要

職員数は 999 人で、前年度（1,049 人）に比べ▲50 人、▲4.8%減少している。

在籍車両数は 282 両で、前年度（222 両）に比べ 60 両、27.0%と大幅に増加している。

横浜市の地下鉄は、昭和 47 年 12 月に上大岡～伊勢佐木長者町間で開業して以来路線を拡大してきており、現在ではブルーラインとして、あざみ野～湘南台間（40.4km）を運行している。

また、平成 20 年 3 月には中山～日吉間（13.0km）でグリーンラインが開業し、平成 19 年度末現在の営業路線キロ数は 53.4km で、前年度（40.4km）に比べ 13.0km、32.2%の大幅な増加となっている。

年間輸送人員は 179,340 千人で、前年度（171,536 千人）に比べ 7,804 千人、4.5%増加している。また、年間走行距離は 27,173 千 km で、前年度（26,436 千 km）に比べ 737 千 km、2.8%増加している。

川崎市の地下鉄事業は、新百合ヶ丘～武蔵小杉ルートでの計画で、事業許可を目指している。

交 通 事 業 の 概 要

項 目	バ ス 事 業									地 下 鉄 事 業								
	横 浜 市			川 崎 市			計			横 浜 市			川 崎 市			計		
	19	18	増 減	19	18	増 減	19	18	増 減	19	18	増 減	19	18	増 減	19	18	増 減
営業路線 (km)	494.2	544.8	50.6	199.0	196.7	2.3	693.2	741.5	48.3	53.4	40.4	13	0	0	0	53.4	40.4	13
年間輸送人員 (千人)	128,266	140,830	12,564	48,376	47,474	902	176,642	188,304	11,662	179,340	171,536	7,804	0	0	0	179,340	171,536	7,804
年間走行距離 (千km)	28,028	33,157	5,129	12,518	12,592	74	40,546	45,749	5,203	27,173	26,436	737	0	0	0	27,173	26,436	737
在籍車両数 (両)	803	874	71	324	324	0	1,127	1,198	71	282	222	60	0	0	0	282	222	60
職 員 数 (人)	1,276	1,561	285	673	673	0	1,949	2,234	285	983	1,032	49	16	17	1	999	1,049	50

(2) 経営状況

交通事業全体の経常損益は19億73百万円の赤字で、前年度(20億17百万円)に比べ赤字額が▲43百万円減少している。経常収支比率は97.3%で、前年度と同率となっている。また、累積欠損金は2,433億71百万円で、前年度(2,410億69百万円)に比べ23億2百万円、1.0%増加し、不良債務は68億49百万円で、前年度(61億10百万円)に比べ7億39百万円、12.1%と大幅に増加している。

ア バス事業の経営状況

バス事業の経常収益は315億73百万円で、前年度(352億17百万円)に比べ▲36億44百万円、▲10.3%と大幅に減少し、経常費用は303億15百万円で、前年度(331億62百万円)に比べ▲28億47百万円、▲8.6%減少している。

この結果、経常損益は12億58百万円の黒字で、前年度(20億55百万円)に比べ▲7億97百万円、▲38.8%と大幅に減少している。また、累積欠損金は7億91百万円で、前年度(17億39百万円)に比べ▲9億48百万円、▲54.5%の大幅な減少となっている。経常収支比率は104.1%で、前年度(106.2%)に比べ▲2.1ポイント下降している。

イ 地下鉄事業の経営状況

地下鉄事業の経常収益は395億73百万円で、前年度(382億8百万円)に比べ13億65百万円、3.6%増加し、経常費用は428億4百万円で、前年度(422億80百万円)に比べ5億24百万円、1.2%増加している。この結果、経常損益は▲32億31百万円の赤字で、前年度(▲40億72百万円)に比べ赤字額が▲8億40百万円減少している。

また、累積欠損金は2,425億80百万円で、前年度(2,393億30百万円)に比べ32億50百万円、1.4%増加している。経常収支比率は92.5%で、前年度(90.4%)に比べ2.1ポイント上昇している。

(3) 料金収入と職員給与費

交通事業全体の料金収入は603億71百万円で、前年度(612億15百万円)に比べ▲8億44百万円、▲1.4%減少している。また、料金収入に対する職員給与費の割合は50.5%で、前年度(54.9%)に比べ▲4.4ポイント下降している。

また、これを事業別にみると、バス事業は77.0%で、前年度(81.7%)に比べ▲4.7ポイント下降しており、地下鉄事業は27.1%で、前年度(28.4%)に比べ▲1.3ポイント下降している。

経常収支の状況

(単位:百万円,%)

項目	19		18		増減 (19-18)		増減率					
	うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄				
経常収益	71,146	31,573	39,573	73,425	35,217	38,208	2,280	3,644	1,365	3.1	10.3	3.6
営業収益	62,277	29,267	33,010	62,815	31,121	31,694	538	1,853	1,316	0.9	6.0	4.2
うち料金収入	60,371	28,389	31,982	61,215	30,513	30,702	844	2,124	1,280	1.4	7.0	4.2
経常費用	73,119	30,315	42,804	75,442	33,162	42,280	2,323	2,847	524	3.1	8.6	1.2
営業費用	58,933	30,125	28,808	60,592	32,987	27,605	1,659	2,862	1,203	2.7	8.7	4.4
うち職員給与費	30,501	21,846	8,655	33,634	24,914	8,720	3,133	3,068	65	9.3	12.3	0.7
減価償却費	15,974	2,389	13,585	16,099	2,565	13,534	126	177	51	0.8	6.9	0.4
支払利息	14,006	94	13,912	14,719	92	14,627	712	3	715	4.8	2.8	4.9
経常損益	1,973	1,258	3,231	2,017	2,055	4,072	43	797	840	-	38.8	-
経常利益	1,258	1,258	0	2,055	2,055	0	797	797	0	38.8	38.8	-
経常損失	3,231	0	3,231	4,072	0	4,072	840	0	840	20.6	-	20.6
累積欠損金	243,371	791	242,580	241,069	1,739	239,330	2,302	948	3,250	1.0	54.5	1.4
不良債務	6,849	0	6,849	6,110	0	6,110	739	0	739	12.1	-	12.1
経常収支比率	97.3	104.1	92.5	97.3	106.2	90.4	0.0	2.1	2.1	-	-	-
職員給与費/料金収入	50.5	77.0	27.1	54.9	81.7	28.4	4.4	4.7	1.3	-	-	-